

# 東京 2020 大会を体感しよう！

## ◇事業目的

東京 2020 大会期間中、様々なイベントを通じて区民や参加者にオリンピック・パラリンピックを体感してもらい、機運の醸成を図る。

## ◇事業内容

### 1. 聖火リレー／セレブレーションの開催

- (1) 開催日：7月22日(水)
- (2) 聖火リレールート：東品川海上公園入口～天王洲公園～旧東海道～青物横丁～大井町駅～区役所～しながわ中央公園
- (3) セレブレーション：しながわ中央公園西側広場にて、ステージプログラムの他、最終聖火ランナーが聖火を聖火皿に灯す式典を開催。

### 2. 東京 2020 大会観戦ツアー

区応援競技（ホッケー、ビーチバレーボール、ブラインドサッカーの3競技、コロンビア共和国パラリンピック事前キャンプ競技のボッチャ、パラ・パワーリフティング）の観戦ツアーを実施する。

### 3. 区独自ボランティア「しな助」の活動

大会期間中、聖火リレー運営補助や区内主要駅・会場周辺駅での会場・観光案内、しながわハウス運営補助などの活動を通じて観戦・観光客をおもてなしする。

## ◇事業予算

92,618千円

(内訳)	聖火リレー／セレブレーションの開催	36,331千円
	東京 2020 大会観戦ツアー	10,379千円
	区独自ボランティア「しな助」の活動	45,908千円



1964 大会聖火リレーの様子  
※写真：しながわWEB写真館より



ホッケー観戦



「しな助」の活動



問い合わせ：文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長  
電話 03-5742-6884

# しながわハウスで盛り上がりよう！

## ◇事業目的

東京 2020 大会期間中、ホスピタリティハウス「しながわハウス」を開設して、区内の大使館・領事館の各国や、区と交流・友好関係にある都市、区の観光や文化などをPRする。

また東京 2020 大会コミュニティライブサイト（※）とも連携して、区民や来訪者による街のにぎわい空間を創出するとともに、品川区の魅力を発信する。

※競技中継（パブリックビューイング）やステージイベントを実施する会場

## ◇事業内容

### 1. 「しながわハウス」設置概要

- (1) 開設期間：7月上旬～9月6日（日）
- (2) 設置場所：「スポル品川大井町」フットサルコートの一部（2面）

### 2. 事業概要

- (1) 区内大使館・領事館の各国や区との交流・友好都市、区の魅力や文化などをPR
- (2) 伝統芸能等、区内や交流・有効都市などの各団体によるステージパフォーマンス
- (3) オリンピック・パラリンピック競技体験、キッチンカーコーナー 等
- (4) 区応援競技（ホッケー、ビーチバレーボール、ブラインドサッカーの3競技ほか）の競技中継

## ◇事業予算 415,277千円

（内訳）	企画、装飾、PRブース・ステージ調整等運営全般	187,585千円
	仮設テント設営・撤去、人工芝撤去、現状復旧全般	145,877千円
	広報周知・啓発、光熱費、手数料等諸経費全般	27,737千円
	競技中継（パブリックビューイング）30日間	54,078千円



「しながわハウス」イメージ図（テント、ステージ、競技体験）

問い合わせ：文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長  
電話 03-5742-6884

# パラリンピック競技を応援しよう！

## ◇事業目的

東京 2020 パラリンピックに出場するコロンビア共和国代表選手の事前キャンプのサポートや、ブラインドサッカーの公式戦開催と品川区をホームタウンとして活動するチームとの交流を通じて、パラリンピック競技の周知・啓発を行うとともに選手を応援する。

## ◇事業内容

### 1. コロンビア共和国パラリンピック事前キャンプ

- (1) 対象競技：ボッチャ、パラ・パワーリフティング
- (2) 練習期間：8月上旬～中旬頃（※期間中に区民交流を実施）
- (3) 練習場所：総合体育館、こみゆにていふらざ八潮

### 2. ブラインドサッカー公式戦

- (1) ブラインドサッカーワンデーカップ（仮称）開催  
国内トップレベルの大会を区内で開催。体験教室も実施する。
- (2) ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021（仮称）開催（区内開催4回目）  
日本代表と世界の強豪国の代表チームが出場する、ブラインドサッカー国際大会「ワールドグランプリ」を区内で開催。体験教室も実施する。

### 3. 「パペレシアル品川」の応援

品川区をホームタウンとして活動するブラインドサッカーチーム「パペレシアル品川」と区民の交流を通じて競技の周知・啓発を行うとともに選手を応援する。

## ◇事業予算 63,512千円

（内訳）	コロンビア共和国パラリンピック事前キャンプ	23,364千円
	ブラインドサッカーワンデーカップ（仮称）開催	2,906千円
	ブラインドサッカーWGP 2021（仮称）開催	36,499千円
	「パペレシアル品川」の応援	743千円



事前キャンプ



事前キャンプ



ブラインドサッカーWGP



選手との交流

問い合わせ：文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長  
電話 03-5742-6884

# オリンピック・パラリンピック教育の推進 ～学校 2020 レガシーの構築に向けて～

## ◇事業目的

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、競技観戦を含めた様々な取り組みを通じて興味・関心を高め、「学校 2020 レガシー」(※)の構築につなげる。

※学校 2020 レガシー：各学校・園の特色を生かし、家庭や地域等と連携を図りながら、東京 2020 大会以降も長く続けていく教育活動

## ◇事業内容

「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針に基づき、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校で講演や体験等の様々な取り組みを実施するとともに、区独自事業も展開する。

### 1. ブラインドサッカー競技体験教室（対象：8年生および教職員研修）

これまで実施してきた体験教室を継続して実施。

### 2. 競技観戦補助

都が提供する観戦機会に対し、子どもの健康・安全面への対策を含めた対応をする。

#### (1) 幼児、児童・生徒等の移動手段確保

会場までの電車等の移動手段に係る経費を補助する。

#### (2) 看護師および引率補助者の配置

暑さによる体調不良や移動中のケガ等、参加幼児、児童・生徒への様々な対応のため、教職員による引率に加えて看護師や引率補助者を配置する。

#### (3) 対応用品の購入補助

熱中症対策やその他観戦にあたって学校が必要とする消耗品等を用意する。

### 3. 機運醸成応援経費

生徒および関係者等に統一ユニフォームを配布し、一体となつての応援をサポートする。

### 4. 記念誌作成

競技観戦を含めた各学校・園の様々な取り組みを集約した冊子を作成し、「学校 2020 レガシー」につなげていく。（発行は令和3年度）

## ◇事業予算 100,358千円

(内訳)	都委託事業	11,150千円
	競技体験教室	1,980千円
	競技観戦補助	83,442千円
	機運醸成応援経費	786千円
	記念誌作成	3,000千円

問い合わせ：教育委員会事務局 指導課長 電話 03-5742-6830

# 児童センター・すまいるスクールの 東京 2020 大会に向けた取り組み

## ◇事業目的

児童センターやすまいるスクール（全児童放課後等対策事業）において、東京 2020 大会開催にちなんだ各種イベント等を実施し、子どもたちやその保護者の同大会への機運醸成と児童センター等の利用促進を図る。

## ◇事業内容

### 1. 東京 2020 大会ラッピング電車“キッズギャラリー号”の走行

子どもたちがオリンピックに関連する「みんなの夢」をテーマに描いた絵でラッピングした東京モノレールの車両を、3月末～東京 2020 大会終了まで走行させ、5月以降に同列車への乗車ツアーを実施する。

### 2. 楽しくボルダリング体験「バロ・クライム」

ゆたか児童センターのボルダリングウォールに、「バロ・クライム（※）」のシステムを導入する（10月以降）。

（※）ボルダリング壁のホールドの位置をセンサーで感知し、プログラミングされた映像を壁にプロジェクターで映すことで、ボルダリングしながらエア・ホッケーやもぐらたたきなどのゲームを楽しむという新感覚アクティビティ。

### 3. ビーチバレーボール体験

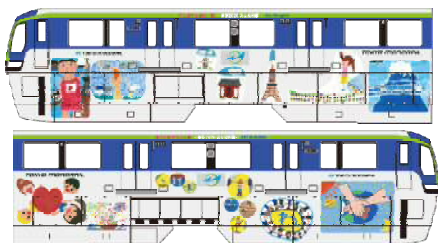
定期的にビーチバレーボールの現役選手に指導を受けているすまいるスクールの子子どもたちが、オリンピック目前に本番さながらの砂のコートで競技を体験する。

(1)開催日 5～6月に実施（教室は平成 27 年度より月 1 回程度実施中）

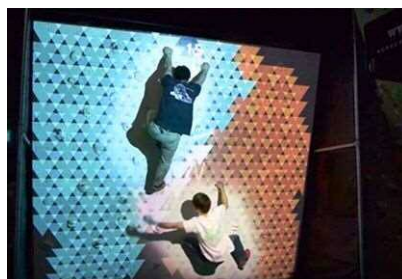
(2)会 場 すまいるスクール山中・鈴ヶ森・旗台の体育館、大森東水辺スポーツ広場等

## ◇事業予算 5, 8 9 3 千円

（内訳）	ラッピング電車“キッズギャラリー号”の走行	1,300 千円
	楽しくボルダリング体験「バロ・クライム」	3,483 千円
	ビーチバレーボール体験	1,110 千円



モノレールラッピング車両案



バロ・クライム



ビーチバレー教室

問い合わせ：子ども未来部 子ども育成課長 電話 03-5742-6719

# 区立保育園の東京 2020 大会機運醸成

## ◇事業目的

東京 2020 大会開催にあたり、子どもたちの興味・関心を高めるため、スポーツや世界の国々を身近に感じる機会を設ける。

## ◇事業内容

### 1. 【新規】実施競技体験

区立保育園 5 歳児を対象に、東京 2020 大会実施競技であるホッケー、ラグビー、ボッチャの 3 競技について、各園が希望した競技の体験教室を 1 回ずつ実施する。

### 2. 外国語(英語)体験

区立保育園 7 園に外部講師を招き、英語を用いた簡単なあいさつや歌の体験を行う。

### 3. 保育園職員向け研修

保育園職員を対象に、オリンピック・パラリンピックの歴史、実施競技の採用理由や障害者スポーツの意義などについて学ぶ研修を実施する。

◇事業予算	3, 1 0 8 千円
(内訳)	各種体験事業委託等 3,049 千円
	研修講師謝礼 59 千円



問い合わせ：子ども未来部 保育課長 電話 03-5742-3087

# 幼稚園・保育園 東京 2020 大会応援

## 3 競技応援キャラクターグッズで園児の安全対策

### ◇事業目的

幼稚園・保育園の児童（5歳児）が東京2020大会を観戦・応援する際の熱中症対策および、品川区の園児であることを明確にするため、区のオリンピック・パラリンピック競技応援関連グッズを配付する。また、グッズを配付することで競技への関心を高め、東京2020オリンピック・パラリンピックへの機運醸成に寄与する。

### ◇事業内容

1. 観戦時の熱中症対策・安全対策のため、品川区3競技応援キャラクターがプリントされた園児用キャップ、タオルを配付する。また各園バスで観戦に向かう。
2. 保冷バッグや保冷材など、観戦時に必要な熱中症対策物品を区立保育園に配付する。
3. 私立幼稚園に品川区ビーチバレーボール応援キャラクター“ビーチュウ”がプリントされたバレーボールセットを配付する。

### ◇事業予算

	11,247千円	
(内訳)	園児用キャップ	2,585千円
	園児用タオル	1,929千円
	バス代	6,000千円
	熱中症対策物品購入	450千円
	バレーボールセット	283千円



品川区3競技応援キャラクター

左からシナカモン（ホッケー）、ビーチュウ（ビーチバレーボール）、やたたま（ブラインドサッカー）

# いっしょに3競技を応援しよう!

問い合わせ：子ども未来部 保育施設調整担当課長 電話 03-5742-6037  
子ども未来部 保育支援課長 電話 03-5742-6540

# しながわへようこそ！船でおもてなし ～主要駅・観光地を結ぶ船の運航～

## ◇事業目的

東京 2020 大会開催に伴い、品川区へ国内外から多くの来訪が見込まれる。

区内競技会場（ホッケー、ビーチバレーボール）が水辺に近いエリアにあることを活かして、訪日外国人を含めた観光客に品川区を楽しんでもらい、にぎわい創出につなげる。

## ◇事業内容

区の水辺の魅力を実感してもらうため、区内主要駅と観光地を船で結ぶ。また、天王洲アイルにある船着き場で乗り換えができるようにする他、乗船者には音声ガイドや観光マップにより周辺の観光情報を提供する。

1. 運航期間 7月25日から8月7日までの14日間（ホッケー競技開催期間）
2. 運航時間 午後1時30分～午後8時30分（予定） ※ 30分から1時間間隔で運航
3. 使用する船

流れの穏やかな目黒川・・・開放的な平船

波の影響のある京浜運河沿い・・・屋形船

4. 運航区間

五反田（目黒川）～天王洲アイル（天王洲運河）～ホッケー競技会場付近（京浜運河）  
～しながわ水族館（勝島南運河）

## ◇事業予算 46,600千円

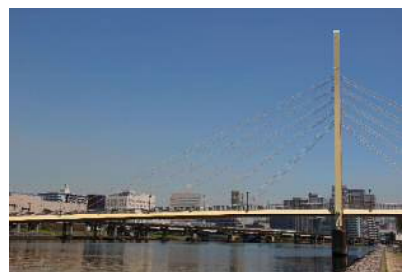
（内訳）	船運航経費	41,600千円
	広報経費	5,000千円



天王洲運河



目黒川



京浜運河

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834



# 【新規】水辺のにぎわい創出へ ～舟運通勤等社会実験～

## ◇事業目的

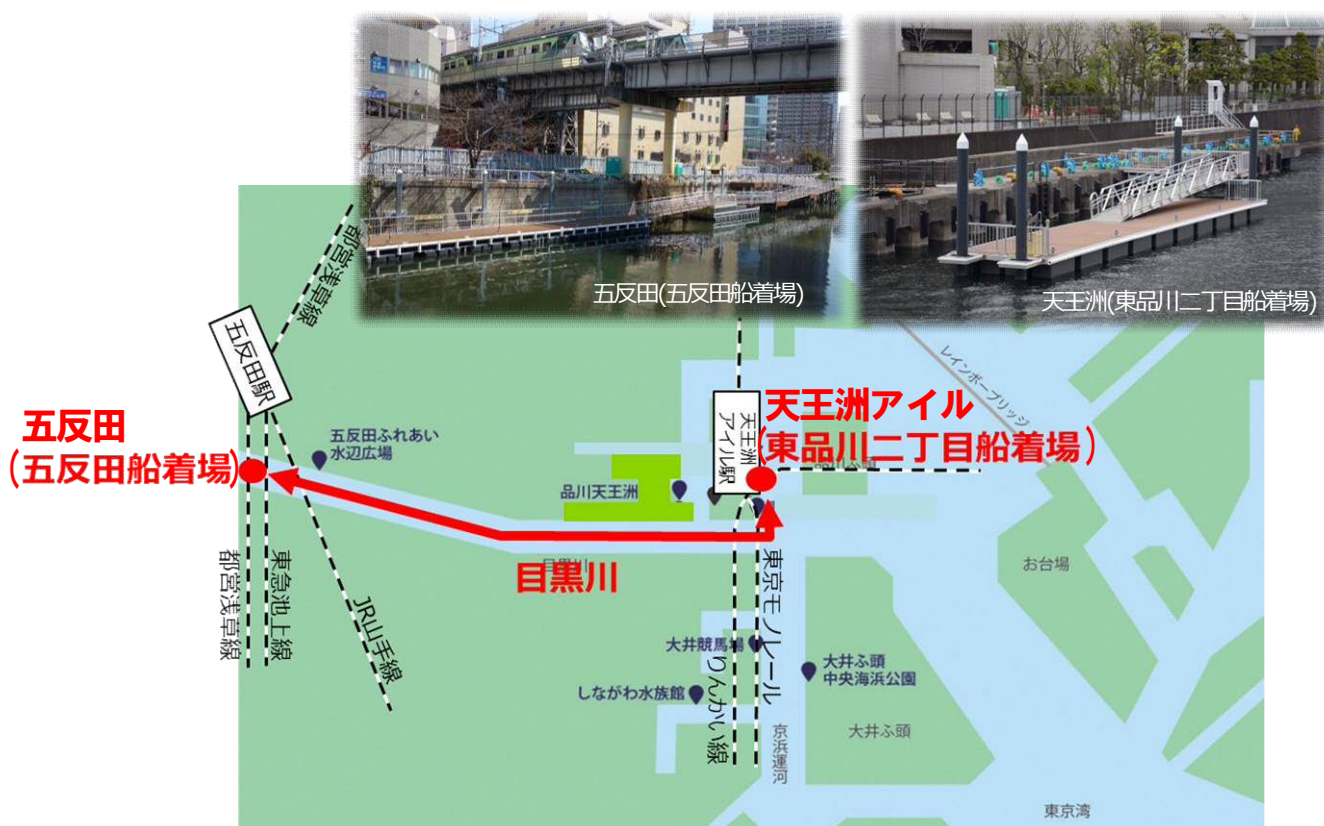
住む人と働く人、地域と来訪者を結び、水辺のにぎわい・活性化を図るため、五反田（目黒川）および天王洲アイランド（天王洲運河）を活用した船による通勤や舟旅の社会実験を行い、東京都の舟運活性化に関する取り組みと連携しながら舟運事業の活性化を図る。

## ◇事業内容

舟運通勤等社会実験を行い、出勤時間の交通手段や観光の交通手段として有効性を検証する。また、アンケートなどを行い、利用者のニーズを把握し、水辺のにぎわい創出につなげる舟運環境を着実に整備する。

1. 航路 五反田（目黒川）～ 天王洲アイランド（天王洲運河）
2. 実施日数 30 日間
3. 運航便数 14 便/日
4. 料金 無料

◇事業予算 57,178千円



問い合わせ：防災まちづくり部 河川下水道課長 電話 03-5742-6793

# 【新規】東京 2020 大会 まちづくりでおもてなし

## ◇事業目的

東京 2020 大会の開催にあたり、区内の競技会場周辺や公園、橋梁において華やかさやひとときの涼しさを提供できるようハード面におけるおもてなしを実施する。

## ◇事業内容

### 1. 東京 2020 大会花いっぱいおもてなしロード

大会開催期間中、東京 2020 大会ホッケー競技会場周辺(八潮 4 丁目)にプランター花壇を 170 基設置し、花をいっぱいにして会場に訪れる方をおもてなしする。

### 2. ミストで涼しくおもてなしパーク

区立公園 5 か所(しながわ区民公園、西大井広場公園、東品川公園、東品川海上公園、文庫の森)にミストを設置し、涼しさでおもてなしをする。大会後も引き続き稼働させ、熱中症対策を行う。(7 月～9 月実施)

### 3. 水辺のライトアップ

「ヒカリの水辺プロジェクト」としてライトアップする区内 8 橋梁で、季節をイメージした色の演出を行うとともに、東京 2020 大会に向け、毎月 24 日にオリンピックカラー、毎月 25 日にパラリンピックカラーにて特別演出し、大会期間中は毎日ライトアップを実施。

また、目黒川地区の 4 橋(鈴懸歩道橋、小関橋、三嶽橋、要津橋)と護岸および天王洲地区の 1 橋(アイル橋)と護岸のライトアップ等を整備する。

## ◇事業予算 643,542 千円

(内訳)	プランター花壇設置・維持管理	19,972 千円
	ミスト設置工事	10,000 千円
	ライトアップ施設維持管理業務委託	17,754 千円
	水辺のライトアップ整備工事等	595,816 千円



花いっぱいおもてなしロード



ミスト設置



山本橋 (オリンピックカラー)

問い合わせ：防災まちづくり部 道路課長 電話 03-5742-6788  
公園課長 電話 03-5742-6531  
河川下水道課長 電話 03-5742-6793

# ごみのないキレイな街でおもてなし ～東京 2020 大会期間中ごみ収集を強化～

## ◇事業目的

東京 2020 大会の開催にあたり、区内に競技会場があることから外国人を含めた観光客が増加することが予想される。確実にごみ进行处理するため特別体制を構築して、開催期間中だれもが快適に過ごせるまちとなるようにする。

## ◇事業内容

### 1. 日曜収集【新規】

競技会場周辺やにぎわいのあるエリアから出るごみ処理を確実にを行うため、商店街等の特定地域における日曜収集を実施する。

### 2. 収集車両の増車

期間中は、交通混雑によるごみ収集・運搬への影響が考えられるため、臨時の清掃車両を投入して円滑にごみ処理を行う体制を構築する。

### 3. 啓発活動【新規】

職員は、作業時に PR 用のワッペンを付け、清掃車両にはマグネットシートを貼付して区内を走行することで、「きれいなまち しながわ」を PR するとともに大会への機運醸成を図る。

## ◇事業予算 34,230千円

(内訳)	車両等対策経費	30,689 千円
	PR 経費	3,541 千円



問い合わせ：都市環境部 品川区清掃事務所長 電話 03-3490-7101

# 訪日外国人向けプロモーション強化とレガシー創出

## ◇事業目的

東京 2020 大会開催に伴うまちのにぎわいを契機とし、区外在住者には行ってみたい・住んでみたいと感じてもらい、区民には区に対する誇りと愛情をさらに深めて住み続けたいと感じてもらうため、シティプロモーション事業を推進する。

## ◇事業内容

### 1. 訪日外国人向けプロモーション

- (1) 外国人フォトグラファーによるInstagram投稿【新規】  
区内競技会場周辺を散策しながら二カ国語(日・英)で投稿する。
  - ・実施期間：6月～9月
- (2) 英語版観光ガイド発行  
滞在中の空き時間で体験できる日本の伝統文化を紹介する。
  - ・発行時期：7月中旬～9月上旬(東京 2020 大会開催期間)
  - ・配布場所：品川駅・高輪ゲートウェイ駅周辺のホテル等
  - ・発行部数：4,000部
  - ・掲載内容：旧東海道で体験できる日本の伝統文化  
(着物、履物、屋形船、日本食、盆踊り等)



投稿写真イメージ(旧東海道周辺の路地)



ラグビーW杯版 観光ガイド(昨年度発行)

### 2. 競技会場周辺の公共交通機関を活用した広告展開

競技会場周辺を走行する都営バス(品川営業所)等で区をPR。

- (1) 都営バス車体ラッピング
  - ・期間/台数：4月～9月/2台
  - ・路線例：大井町・品川駅～八潮 ⇒大井ホッケー競技場  
門前仲町～東京テレポート駅 ⇒潮風公園(ビーチバレーボール会場)  
目黒駅～千駄ヶ谷駅 ⇒新国立競技場、東京体育館 他
- (2) JR 京浜東北線 トレインチャンネル・中づり広告
  - ・期間：1週間(東京 2020 大会開催期間)



都営バス(平成30年度より走行中)

### 3. エッセイ集「品川区とオリンピック・パラリンピック(仮)」発行【新規】

東京 2020 大会のレガシーとして、区にゆかりのある著名人によるエッセイ集を発行する。

- ・仕様/部数/販売価格：A5・162頁/2,500部/2,500円

## ◇事業予算

20,198千円

(内訳)	観光ガイド発行・交通広告等	14,498千円
	エッセイ集発行	5,700千円

問い合わせ：企画部 広報広聴課長 電話 03-5742-6611